

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	公園維持管理費				
担 当 課 係 名	都市整備 課		住宅公園 係	作成者	高橋貞二
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち			総合計画の ページ
	基本計画	公園や緑地の整備			
	主要施策	都市公園の管理と利用促進			81
予 算 費 目	一般 会計	8 款 土木費	4 項 都市計画費	4 目	公園費
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分		
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	仙北市都市公園条例・仙北市河川条例				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民並びに来訪者
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	市民の憩いの場、レクリエーションの場として、市民が快適で楽しく利用できる環境づくりに努める。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	施設の維持管理業務を実施する。維持管理業務の草刈り作業は業者へ、植木の冬囲いはシルバー人材センターへ委託している。

【事務事業の推移】

(単位：千円)

	項目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	維持管理実日数	日	115	121
	成果指標	市民1人あたりの公園面積	m ²	9	9
投下コスト	項目	総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費(人件費を除く)(A)		9,335	9,575	
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源	9,335	9,575	
	人件費(B)		628	807	
	職員数		0.08	0.10	
	職員平均人件費		7,853	8,071	
	(A) + (B) 投下コスト		9,963	10,382	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		86,635	85,802	
	市民1人当たりのコスト(円)		312	331	

【事務事業の今までの成果】

憩いの場として、心地よく利用できる環境を提供している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	緑化については、地球温暖化の視点から推進が求められている。 県の「水と緑の森づくり税」を活用した施設整備の予定がある。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	草刈りだけでなく、樹木の下刈、枝打ちなども必要である。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
C	A	現状のまま継続（実施）	草刈り作業は委託しているが、古城山公園、花場山公園については、樹木の管理が十分に出来ていない状況であり、C判定と判断した。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

- ・古城山公園は「水と緑の森づくり税」を活用した施設整備を進める。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
C	市民から親しまれる公園を目指して、利便性を考慮した安全で効率的な運営に努めた事業の推進が必要と考える。

一次評価診断図

